

平成 29 年度

第 2 回 磐田市文化財保護審議会 報告

- 1 日時 平成 30 年 3 月 12 日(月)10:00～12:00
- 2 場所 磐田市埋蔵文化財センター 2 階 研修室
- 3 出席者 磐田市文化財保護審議会委員 8 名
平野吾郎会長 小杉達副会長 芹澤拙夫委員
日比野秀男委員 増田千次郎委員 鈴木敬雄委員
坪井俊三委員 加藤理文委員
事務局 9 名
村松教育長・秋野教育部長・高梨文化財課長・村松課長補佐
兼管理グループ長・木村歴史文書館長・竹内主幹兼調査グループ長・鈴木亮司主査・佐口主査・谷口主任
- 4 傍聴人 なし
- 5 議事

【報告事項】

①豊岡地区遠州大念仏について

[事務局からの説明]

- ・平成 28 年、29 年度二ヵ年かけて、文化庁の文化遺産総合活用事業として、遠州大念仏の映像記録の作成を実施した。
- ・このたび、保存版、普及版、短縮版 3 種の DVD として完成した。
- ・作成した映像は市ホームページに掲載する。
- ・調査報告の概要を作成した。次年度、小杉副会長、中山委員より民俗文化財としての評価をしていただき、報告書を刊行する予定。

[主な質問・意見]

- ・大念仏が、現在も盆供養として敬虔な気持ちで行われていることは、たいへん価値が高い。
- ・きれいな映像でわかりやすく編集されている。

②民俗文化財調査について（掛塚祭、加茂大念仏）

[事務局からの説明]

- ・次年度、文化遺産総合活用事業として掛塚祭の屋台修理、映像記録作成事業を実施予定。
- ・今年度、事務局が事前調査を実施。
- ・次年度、日本芸術文化振興会助成金事業として、加茂大念仏の映像記録作成事業を実施予定。

〔主な質問・意見〕

- ・毎年解体組み立てを行うことにより屋台が傷むのが課題。
- ・屋台の修理を映像記録に残すことで、組み立て方を映像で残し後世に伝えることができる。
- ・動く文化財（民俗文化財等）、動かない文化財（有形文化財等）がある。動く文化財については、その動き、変化も文化財として捉えたとおもしろい。

③史跡整備事業について

〔事務局からの説明〕

- ・遠江国分寺跡史跡整備事業として、今年度は現況測量と基本設計を実施。
- ・それに伴い、基本設計において施設建設予定地の遺構の有無を確認するために発掘調査を実施。
- ・今年度の発掘調査で、金堂の東側から講師院の可能性のある大型掘立柱建物の柱穴が検出された。
- ・次年度、阿多古山一里塚整備事業を実施予定。
- ・保全を主目的にした整備。進入路のカラー舗装、擁壁設置、危険木の伐採、説明板設置、整備報告書作成を行う。

〔主な質問・意見〕

- ・北側の一里塚は今回整備しないのか？
→民有地に囲まれており進入路がない。今回は南側の一里塚の養生管理センターの整備。北側の一里塚の整備は今後の課題。

④天然記念物部会経過報告について

〔事務局からの説明〕

- ・熊野の長フジの隣地に伸びてしまった根を行興寺敷地内に移設し保護。
- ・善導寺大クスは、樹勢回復のため、枯死枝伐採と土壌改良を実施。
- ・いずれも天然記念物部会にて工法を検討し、芹澤委員が施行管理を行う。

〔主な質問・意見〕

- ・大クスは真ん中が枯れてしまっている。切った部分に蓋をした。
- ・長フジは、太い根が下に伸びてしまっていて、簡単には掘り起こせない。ようすをみながら丁寧に作業する。

⑤指定文化財修理について

〔事務局からの説明〕

- ・旧見付学校附磐田文庫台風被害2件。漆喰剥落。市単費で修繕済み。県を通じて、国に報告済み。

〔事務局からの説明〕

- ・松井氏首塚修繕。台風被害により倒壊したため、積み直す程度の簡易な修繕を実施。加藤委員に報告済み。

- ・個人所有の工芸品10点のうち市指定文化財の竹尻籠(たけしこ)を修理。次年度は竹尻籠の箱を修理予定。日比野委員立会い予定。

⑥獅子ヶ鼻「新四国八十八ヶ所」石仏群について

〔事務局からの説明〕

- ・全国ネットのテレビ番組で紹介され、話題になっているが、それ以前に発見者の方から文化財課に連絡があり、事務局が調査。

- ・かなり危険で険しい場所にあるものもある。

- ・四国八十八ヶ所霊場を真似ているが、本尊が一致しないものがある。仏像の細部の表現が省略されている。

- ・大正2年に栗田天授という人が奉納。石工は浜松の松下忠吉。

- ・庁内で連携し、今後どのように保全活用するのか検討している。

〔主な質問・意見〕

- ・彫刻としての価値はあるのか？

- ・彫刻としての評価は高くない。明治期以降の仏教彫刻は数が少なく戦争に関連したものもあるため、正しく評価されていないものがある。

- ・獅子ヶ鼻という信仰の対象になっている場所に巡礼の道があることを評価する必要がある。

⑦文化財調査実績について

〔事務局より説明〕

- ・平成29年度9月から3月に実施した有形・無形文化財、埋蔵文化財調査実績を報告。

⑧文化財啓発事業について

〔事務局より説明〕

- ・平成29年度9月から3月に実施した企画展、訪問歴史教室の実績を報告。